福井県　宇宙関連産業分野における地域産業クラスター計画の概要

計画案

1．産業領域

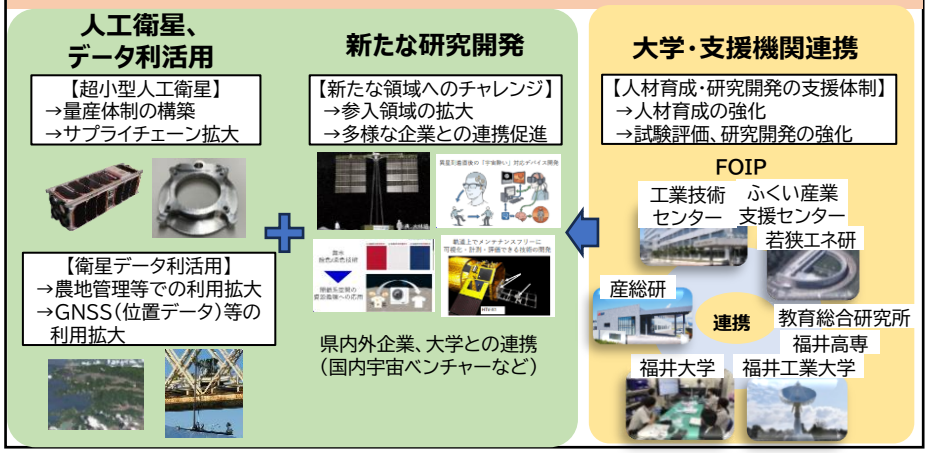
人工衛星、データ利活用サービスを核とした宇宙関連産業

＜特定理由＞福井県内で人工衛星の「設計・製造・試験・運用・データ利活用」の機能が揃う全国有数の強みを活かし、宇宙関連産業の集積化を図る。

2．対象エリア

福井市、坂井市、あわら市、鯖江市、越前市、越前町、敦賀市およびこれらの市町を結ぶ北陸新幹線、北陸自動車道、中部縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道ならびに国道８号等により形成される広域交通・物流ネットワーク沿線地域

宇宙関連産業クラスターのイメージ



3．目指す姿（目標）

人工衛星および衛星データの利活用サービスを核に、大学や支援機関等による連携体制のもと、事業拡大や高付加価値化を推進し、宇宙産業クラスターを形成

・宇宙業界は、2030年代に市場規模が150兆円といわれ、グローバルでの人工衛星打上げ数は2019年から2022年で約5倍に急増

・福井県は、2015年から宇宙産業への参入を目指し、福井県民衛星プロジェクトを推進。人工衛星製造からデータ利活用までの基盤を確立

【KGI】

官民設備投資額：2036年度までの累計約33億円
付加価値増加額：2036年度に約19億円
産業人材育成数：2036年度までの累計約200人

4．勝ち筋

①「衛星ビジネス」の拡大

・人工衛星の高機能化、量産化の推進

・AI等のデジタル技術を活用した衛星データ利活用サービスの高度化、全国展開の推進

・宇宙用部品・コンポーネント分野への参入拡大

②「衛星以外の宇宙ビジネス」への参入

・（国研）産業技術総合研究所や地域大学等と連携した研究開発・実証の推進

・有人宇宙、月面開発、宇宙輸送分野への展開促進

③「実践型人材」の育成強化

・大学、企業および支援機関等の連携による実践的な教育プログラムの提供

5．政策手段

研究開発から試験評価、人材育成、事業化および販路開拓までを一体的に支援

・ふくいオープンイノベーション推進機構（FOIP）の枠組みによる伴走支援および販路開拓、国内外への事業展開支援

・企業、大学および試験研究機関等の連携による研究開発・実証および事業化の推進

・設備投資の促進および福井県工業技術センター等の試験評価環境の整備・高度化

・ふくい産業AXコンソーシアム等とも連携し、AI活用等を支援

・大学・企業等による実践的人材育成の推進